

## 道民活動センター「かでの 2・7」への意見書

2024年5月7日  
意見箱プロジェクト

私たちは、北海道内外の大学教員やメディア関係者などから構成される、北海道と入植植民地主義を考える「意見箱プロジェクト」です。

3月10日に道民活動センター「かでの 2・7」1階かでのホールで開催された日本会議北海道本部アイヌ問題シンポジウム実行委員会（以下、「シンポジウム実行委員会」）主催の「改めて問う アイヌはなぜ先住民族にこだわるのか？」に関して、2月28日に貴館に意見と質問を送り、3月9日に回答をいただきました。

期日までに私たちの質問に対して返答をいただけたことにお礼申し上げます。しかし、貴館からの返答には問題があると私たちは考えます。したがって、あらためて意見書をお送りします。

条例第9条第1号の「利用の目的が道民活動センターの設置の目的に反するとき」について、貴館からは、「**「設置の目的に反する」とは、積極的な意味でその目的を阻害するような場合を言うものと認識しており、当該シンポジウムはこれに該当するとは考えておりません**」と返答をいただきましたが、道民活動センターの設置については、「道民自らの創意や活力が生かされる地域づくりに必要な社会福祉活動、生涯学習活動、女性活動、アイヌ文化活動等の組織的な活動の促進及び道民が行う学習、研修、交流等の機会の充実を図るため、北海道立道民活動センターを設置する。」と明文化されています。

「アイヌ文化活動等の組織的な活動の促進」の機会の充実を図るために設置された貴館において、「改めて問う アイヌはなぜ先住民族にこだわるのか？」を開催することは、明らかに「利用の目的が道民活動センターの設置の目的に反する」ものであると、私たちは認識しています。

貴館の見解に抗議するとともに、条例第9条第1号に記された「利用の目的が道民活動センターの設置の目的に反するとき」の内容を、真摯に受けとめることを強く求めます。

意見箱プロジェクト事務局担当  
北海道教育大学非常勤講師  
小田原のどか  
odawaranodoka@gmail.com